

あの日助手席に彼女を乗せて僕は湖へ向かった

作・中野 守（中野劇団）

登場人物

クチタ

ミサオ

女性

部屋には机、その上にはノート型PC。部屋の中央にソファとテーブル。

クチタ、机の前に座ってノート型PCの画面に映し出された文字を読む。

クチタ ミサオ 操へ。今日、警視庁のクチタさんが来る。

ミサオ登場。お盆でお茶を運んで来る。

ミサオ クチタ：サン？

クチタ、振り向く。

ミサオ すいません。散らかってて。

クチタ いや、お気遣いなく。こっちこそ突然お伺いしちゃって。あ、すいません、パソコン勝手に覗いちゃって。

クチタ、席を立つ。

ミサオ どうぞゆっくりご覧になって下さい。

席に戻り、マウスを動かすクチタ。

クチタ いいの使ってますね。

ミサオ アヤノちゃんがメル友から中古で譲り受けたものみたいなんですけど。どうぞ。（灰

皿を置く)

クチタ すいません。ええとミサオ、さん？

ミサオ ええ。

クチタ …は、吸わないんですよね。

ミサオ ええ、私は。

クチタ 誰か吸う方がいるんですか？

ミサオ え？

クチタ いや、壁が。

黄色く変色した壁。

ミサオ ああ。ヤニでしょ。ヘビースモーカーの子がいます。吸える場所がどんどん減っていきつてよく嘆いてます。

クチタ、机の上に写真櫃を見つける。

クチタ これ、ミサオさん？

ミサオ ああ、それ野外ライブで歌ったときです。アマチュアの。

クチタ へえ、凄いですね。人前で歌うなんて。僕なんか、カラオケでも人前で唄うの苦手で。

ミサオ 私も、凄いがり症で。学生のとくにみんなの前で発表するのとか、苦手でした。

クチタ (写真を見つめ) え？ その割には…。

ミサオ それ、私じゃないんで。

ミサオを見るクチタ。

ミサオ …聞いてますよね？

クチタ ああ、はい。調書に。

ミサオ だからそのときも、別の人が出番で。

クチタ 出番？

ミサオ 表に現れてる状態をそう呼んでるんです。言い始めたのは私じゃなくてサヤカちゃんなんですけど。で、知らない間にそんな格好でステージに立ってたって聞かされて、それだけで気を失いそうになったんですから。

クチタ ミサオさんはね、自分の中に他の人がいるっていう自覚はあるんですか？

ミサオ いえ自覚は…。でも、自分の知らない間に別の人格が動いてたんだなって形跡があります。どうぞ。

クチタ あとも。

クチタ、お菓子をひとつつまむ。

ミサオ お疲れじゃないんですか？

クチタ いえ。…例の事件の話なのですが。

ミサオ 事件。女の人が殺された事件ですよ。

クチタ はい。川崎忍という女性です。…遺体がまだ、見つからない事件でして。

ミサオ ええ…。それで私に聞きたいことって？

クチタ …綾乃という方からメールを貰いました。

ミサオ アヤノちゃんか？

クチタ ええ。事件についての情報があるって。あやのさんというの？ 今どちらに？

ミサオ 奥です。

クチタ 奥？ あの、案内してもらってもいいですか？

ミサオ 違うんです。えと、奥って言うのは、表に出てない状態のことなんです。裏って
いうか。…聞いてますよね？ 私が…特殊だってこと。

クチタ え？ ああ、はい。成程。

ミサオ あやのちゃんは、私の中にいる別の人です。

間。

クチタ …他の刑事もいろいろ聞いてると思うんで、重複してたら申し訳ないんですけど、
確認も踏まえて、いくつか聞きたいことがあります。

ミサオ でも、前にも話したんですけど、事件のときは、違う人が出てたんで。

クチタ 出てた？ 出てたっていうのは、今出ているのはミサオさんってことですね。
そういう意味ですよね。

ミサオ ええ。

クチタ 出てないときの記憶っていうのはあるんですか？

ミサオ いえ。

クチタ ミサオさん以外の人にも？

ミサオ さあ。でもおそらく。知るかぎりでは。

クチタ じゃあ、自分が出てない間、他の人が何をしていたとかは、わからないですよ。

ミサオ わかる場合もあります。

クチタ それはどんな？

ミサオ、パソコンに向かう。脇から覗くクチタ。

クチタ 日記？

ミサオ 他の子が、出てる時に何があったかを書いてくれています。最初、サヤカちゃんって子が始めて、今は私とアヤノちゃんが加わって三人で情報交換します。サヤカちゃんは几帳面な人で、私の日記は大雑把だって、よく注意されます。年上な感じのしっかりさんで。凄いパソコンオタクなんです。

クチタ 何人ぐらいいるんですか？

ミサオ さあ。ある日突然新しい人が登場したりするから。

クチタ みんな名前があるんですか。

ミサオ ええ。たぶん。

クチタ この写真のときは？

ミサオ さあ。

クチタ じゃあ、事件のときは？

ミサオ、首を振る。

クチタ そうですか。

間。

クチタ あやのさんなら？

ミサオ わかるかもしれないですね。

クチタ あのと、できればあやのさんと話したいんですけど、呼び出すなんてこと、可能です？

あ、でも、いつ、どの人が出てくるかなんて、わかんないですね。

ミサオ さやかちゃんに教わった方法があるんですけど。

クチタ 方法？ それお願いできますか？

ミサオ ええ。ちょっと待ってて下さい。

ミサオ、ノートPCに文章を打ち込んでいる。ちょっと不慣れな手つき。

クチタ それは？

ミサオ あやのちゃんに刑事さんのこと紹介しておきます。ちゃんと何があったか記録しないと後で叱られるんで。

クチタ、脇から画面を見つめる。

クチタ この『事件のこと（操）』ってファイル、何ですか。

ミサオ これ？ 私、こんなファイル作った覚えはないですけど。…見ます？
クチタ いいですか？

マウスを動かすミサオ。

ミサオ …パスワード？

クチタ わかります？

ミサオ いえ…。

クチタ あ、じゃあいいです。

ミサオ いいですか？ 呼びますね。

クチタ 待って。

ミサオ はい。

クチタ またミサオさんに戻ってきてほしいときは、どうしたら？

ミサオ、鈴を取り出し、鳴らす。

クチタ 鳴らせばいいんですか？

ミサオ 理屈はわからないけど、それで高い確率で戻って来られます。こういうことは、

私よりさやかちゃんの方が詳しく説明できると思うんですけど。

ミサオ、何か呪文みたいなものを唱えながら机に頭をガンガンぶつけ始める。

クチタ え？

ミサオ、動きが止まる。

ミサオ？

クチタ あやのさん？

ミサオ あれ？ もっかい。

ミサオ、再度呪文を唱えながら机に頭をガンガンぶつける。

あやの登場。頭を押さえ、メガネを外し、時計を見る。

あやの
…。

あやの、ノートPCを見る。マウスを左手でミサオ作し、慣れた手つきでキーを叩く。

クチタ あやのさん？

あやの ？

クチタ ええと、私…。

あやの クチタ。

クチタ です。はい。

あやの ミサオに伝えといて。言葉だけでいいって。

クチタ え？

あやの 頭ぶつける意味はないからって。

クチタ はあ…。

あやの あと、サヤカが出てくることがあったら、一発殴っておいて。

クチタ え？

あやの やらないと協力しないよ。刑事さん。

クチタ わかりました。

クチタを品定めするような目で見るあやの。

あやの ふーん。

クチタ 何ですか？

あやの 刑事っぽくないな。

クチタ そうですか？

あやの で？

クチタ え？

あやの ボクに用があるんだろ？

クチタ え？ ああ、事件のことです。

クチタ、眼鏡を見ている。

クチタ それ、度が入ってるんですか？

あやの 乱視なんだと。

クチタ あやのさんはなくても大丈夫なんだ。

あやの 変だよな。人格違うからって、視力まで変わるなっつーの。

クチタ 利き腕まで…。

あやの …なあ、ミサオって疲れるだろ。

クチタ え？ いやその。

あやの 別に気を遣わなくてもいいよ。あれはボクじゃないから。あの子さ、ネジ緩いだろ。

クチタ いや、その。

あやの で？ 事件の話って？

クチタ え？ ああ。川崎忍という女性が自宅のマンションで殺されたんですが、遺体が

まだ見つからなくて。現在、犯人を捜してるんです。

あやの ボクが何か知ってるかと？

クチタ あなたが情報があるって。メールで。

あやの ？

クチタ 送って来ませんでしたか？

あやの いいや。でも。

クチタ でも？

あやの ボクの中の誰かがこのノートからメールを送ったら、ボクのハンドルで送ってるかも。設定がそうなってるから。

クチタ 誰だかわかりませんかね。

あやの ……多分、送信した後に、デリってるな。

クチタ デリ、ああ、削除のことですね。

あやの そっちに届いたメールって今ある？ ログ見れば、その時間に誰が出番だったか

わかると思うけど。日記つけてるから。

クチタ 成程。

クチタ、携帯を調べる。

あやの 交換日記つけないと生活できないからな。誰と会ったとか。何処に行かなきゃ

いけないとか、何買って、いくら遣ったとか。役割分担しないと生きていけないし。

ミサオは家事やってくれるからいいけど、他の奴にこっちが働いて稼いだ金勝手に使われたりしたら困るし。どれだけ厄介か想像できる？

クチタ いやあ。…あの、働くって？

あやの ボクはアプリケーションソフト作ってる。サヤカはネット小説で小遣い稼いでる。

クチタ へえ。

あやの　でも、ボクもサヤカも出番は週に合計十時間もないからできることは限られてんだ。

クチタ　あった。これ、転送しておいたんですけど。

携帯を覗くあやの。

あやの　…。

クチタ　あやのさん。

あやの　？

クチタ　ミサオさんにも聞いたんですけど、事件のあった時間は誰が出てたかわかります？

あやの　空白。

クチタ　空白…。

あやの　ただ、その直後はさやかだったみたいだけど。

クチタ　さやかさん。

あやの　さやかってのは、ミサオの姉だよ。

クチタ　お姉さん？　え？

あやの 別にわからなくてもいいよ。

クチタ じゃあ、さやかさんならわかるんじゃないですか？

あやの だろうね。呼び出されたときの自分の状態なんかで、自分の前が誰だったかある程度わかる。例えば着ている服だとか、目が覚めたら頭に瘤が出来てるとか。

クチタ ああ。

あやの ま、刑事のあんたなら、直接聞けば話してくれるかもな。……くそ、繋がんねえ。サーバーダウンしてんのかな？ ちょっと待ってな。

クチタ はい。……あの、あやのさん自身は事件のことで知ってることってあります？

あやの 事件のことです？ ……殺されたのは自宅のマンションだよな。鎖で椅子に縛られて、動けない状態で、ボウガンの矢が眉間に刺さって死んだ。

クチタ ……何でそんなこと知ってるんですか？ 一般にはそこまで……ハッキング？ 警視庁のデータを？

あやの 協力してほしいんだろ？

クチタ ……まあ。

あやの そんな技術はないよ。ただアングラ行けばいろんなネタアップしてくれるし。てか、

流れてるってことは流してる奴がいるってことだからな。あんたんとこに。

クチタ 成程、地下サイト…。

あやの 遺体、見つかってないんだよな。

クチタ ええ。

あやの 遺留品リストの中にボウガンはなかったけど。遺体もなくして何でボウガンだって？

クチタ 撮影されてたんです。市販のデジタルビデオで。部屋にテープが。

あやの その映像もその内出回るんだろうな。その映像に不審な点は？

クチタ さあ、ただ。

あやの ただ？

クチタ 殺害シーンの前にベルトのバックルが映ってて。

あやの バックル？

クチタ ええ。バックルの中から何か小さなものを取り出している映像なんです。それが

何かとか、その映像に何の意味があるのかはわからないんですけど。

あやの、陰しい表情。

あやの 何で？

クチタ どうしたんです？

あやの ログの時間に出てたのはボク？

クチタ でも送ってないんですよね。

あやの 送ってない。

クチタ どういうことですか？

あやの さあ。とにかく、サヤカと話してみなよ。

クチタ はい。

間。

あやの …ボクには呼び出せないよ。意識的に呼び出せるのはミサオの特権なんだ。戻し

方聞いてる？

クチタ ええ。

あやの 頑張れよ。

クチタ はい、あ、あやのさん。

あやの 何？

クチタ この『事件のこと（操）』ってファイル何ですか？ ミサオさんに聞いたら自分じゃないって。

あやの 違うんだ？ 覗いてやろうと思ったんだけどさ、パス分からなくて開かないんだよ。確か、前に引き出しの中で何か見つけた気がするんだけど。

あやの、引き出しを引こうとするが開かない。

あやの こっちも鍵がかかってる。

クチタ そうですか。

あやの いい？

クチタ あ、はい。じゃあ。

クチタ、鈴を鳴らす。

ミサオ …あ、クチタさん。どうでした？

クチタ、ミサオに眼鏡を掛ける。

クチタ サヤカって人がもしかしたら知っているかもって。

ミサオ サヤカちゃんか。

クチタ 呼び出せますか？

ミサオ はい。

クチタ ミサオさん、疲れてたら、すぐじゃなくてもいいですよ。

ミサオ 大丈夫です。じゃあ、呼び出しますね。

クチタ あ、あやのさんが…。

ミサオ はい？

クチタ 頭をぶつける意味はないって。

ミサオ え？ そうなんですか？ でも、サヤカちゃんが。

クチタ サヤカさんって、どういう人なんです？

ミサオ サヤカちゃんは、頭がいいみたいですけどね。あ、そういえば、あやのちゃんが

書いてたんですけど、私達の中にネジの緩い子がいるって。

クチタ いや、それは多分…。

ミサオ サヤカちゃんが出てきたら、『もお』って言うておいて下さい。
クチタ わかりました。

ミサオ、何やら唱えながら、頭をガンガンぶつけ始める。

クチタ だから、ぶつけなくてもいいんですって。

ミサオ すいません。つい。

ミサオ、何やら唱える。さやか的人格が現れる。眼鏡を外すサヤカ。

サヤカ …。

クチタ サヤカさん？

サヤカ …そうだけど。誰？

クチタ、サヤカの頭を叩く。

サヤカ 何？

クチタ もお！

サヤカ え？

クチタ すいません。あやのさんと妹さんに頼まれました。

サヤカ 妹？

クチタ ミサオさん。

サヤカ …ミサオ？ ミサオは妹じゃないよ。

クチタ でもあやのさんが、サヤカさんはミサオさんのお姉さんだって。

サヤカ ニセあやのが？ って私もニセモノか。

クチタ え？

サヤカ ううん。…あんた誰？

クチタ 警視庁のクチタです。事件のことでサヤカさんに聞きたいことがあって。

サヤカ へえ。刑事さん？ 見えないわね。

サヤカ、煙草を探す。ただし、サヤカの足は自由には動かない。

サヤカ ミサオってこの顔で喋ってるんだよね？

クチタ ええ。

サヤカ ミサオのことは日記でしか知らない。あの性格をこの顔でやってるっていうのが
いまいち想像できなくてさ。いつも思うんだけど。

クチタ はあ…。

サヤカ ってあんたに話しても意味わからないと思うけど。

クチタ …あの、事件の日のことなんですけど。

サヤカ あ、私仕事してるけど、気にしないでね。

クチタ 小説ですか。

サヤカ そ。で？

クチタ 事件のあった時間に誰が出番なのかわからないみたいです。あやのさん曰く、
その直後に出番だったのはサヤカさんで、サヤカさんなら、直前が誰だったかわ
かるはずだって。

サヤカ、煙草を探すが見つからない。

サヤカ 一本貰える？

クチタ …ええ。

サヤカ、クチタに煙草を貰う。

クチタ、サヤカの煙草に火をつける。

サヤカ …。こつちも情報がほしいな。

クチタ 捜査内容を他人に話すのは…。

サヤカ ふうん。

間。

クチタ 何を話せば…。

サヤカ まず死因。毒殺？ 絞殺？ それとも凶器か何かで？ 鈍器とか刃物とか。

クチタ ボウガンです。

サヤカ ボウガン？　へえ……。あと、被害者の家族構成とか交遊関係は？

クチタ 両親は子供の頃に離婚していて、母親に引き取られたんですが、数年前に死んでからは、ずっと独り身だったようです。

サヤカ 他に身近な関係は？

クチタ ……吉岡って男と付き合っていました。

サヤカ その線は？

クチタ ……事件後、睡眠薬自殺を…。

サヤカ そう…。殺して自殺したとか？

クチタ それは考えにくいです。死亡推定時刻が

クチタ 午後十一頃。その二十分前に吉岡の携帯に犯人からメールが送られて来ました。

サヤカ 犯人から？　被害者じゃなくて？

クチタ ええ。

サヤカ どんな？

クチタ 殺しの予告です。ただし、その時、吉岡はマンションから一時間半以上かかる場

所に友人といたことを確認しています。その前の晩にも彼はマンションに行ってるんです。パソコンの調子が悪いから来てほしいと言われたそうです。けど怪しい点はありません。それにおそらく犯人は、女性です。

サヤカ 女性？ 理由は？

クチタ それは…。

サヤカ 刑事の勘？

クチタ そんな所です。

サヤカ ま、いいや。携帯のアドレスを知っていることはさ、吉岡って人と繋がりがあるってことよね。

クチタ …それが、被害者の携帯を使ってるんです。犯人の方が一方的に吉岡を知っていた可能性は強いですけど。

サヤカ そっか。ま、とにかく吉岡にはアリバイがあったってことね。他に彼女に関わりのある人は？

クチタ いっぱいいます。

サヤカ は？

クチタ 中でも。…忍さん、吉岡の父親とも繋がりがあつたようです。吉岡はそのことを知らなかったらしいのですが。

サヤカ 繋がりがって、具体的には？

クチタ 援助交際をさせられていた…。ちょっと待って。どっちが刑事かわからないな、これじゃ。

サヤカ その事実を知った吉岡が誰かに彼女を殺させたとか？

クチタ ないですね。彼は被害者が殺されるまでは関係を知らなかったみたいだし。

女性が奥に座っている。体に鎖を巻かれ、猿轡を填めて藻掻いている。クチタ、その様子をじっと見ている。

サヤカ どうかした？

クチタ え？ いえ。すいません。ちょっと疲れが。

サヤカ ちょっと休んだら？

クチタ ええ。

クチタ、眉間を

クチタ 幻覚って見たことあります？

サヤカ 幻覚？

クチタ 度々見るんです。仕事で何日か眠れない日が続いたりするんで、起きてるのに夢みたいなものを見ることがあるんです。幻覚とか、幻聴とか。

サヤカ 病院行った方がいいんじゃない？

クチタ いや、行ってたんですけどね。

サヤカ、クチタの指を見ている。

クチタ 何ですか？

サヤカ …結婚してるんだ。

クチタ え？ いえ、これ、ペアリングで。

サヤカ 彼女か。彼女も警察？

クチタ いえ。フリーター、…だと思っんですけど。

サヤカ 思うって、そういうの聞かないの？

クチタ いや。…歌手目指してるみたいなんですけど。あまり詳しくは。

サヤカ …刑事の彼女って可哀想。

クチタ はは…。

サヤカ どうせ会う時間だって少ないんですよ。

クチタ まあ。

サヤカ ちゃんと構ってあげなさいよ。デートとかしてるの？

クチタ 湖に連れて行きましたよ。

サヤカ へえ。で？

クチタ は？

サヤカ 車で？

クチタ ええ。まだ日が昇る前の霧の濃い、山間の道をね、助手席に彼女を乗せて。すれ違う車もなくてホント貸切状態で。助手席の窓が開いていて、彼女の髪が靡いてる。

助手席で歌う彼女に僕も合わせて鼻歌を…。

サヤカ 湖か。

クチタ 姉貴が死んだ場所なんです。

サヤカ え？

クチタ 俺らが小学生の時に。溺れてね。俺、近くにいたのに助けられなくて。

サヤカ そっか。じゃあ、お姉さんに彼女を紹介しに行ったんだ。

クチタ それもあるし。癒しも兼ねて。……って俺の話はいいんですよ。事件の時、出番だったのは誰ですか？

サヤカ その子が何を知ってる？

クチタ 何かを。

サヤカ それは何？ 犯人の顔を見たとか？ 殺された女性から連絡があったとか？

クチタ ……ただ、何でもいいから手掛かりになればと。

サヤカ だから、どうして私達が何かを知ってるって思うわけ？

クチタ それは…。

サヤカ もしかして、私達のこと疑ってる？

クチタ ……いや、それは…。

サヤカ ……ま、いいわ。私が目を覚ましたとき、白いワンピースを着てた。それとこっち(左)

の親指がふやけてた。

クチタ どういう意味ですか？

サヤカ、指をしゃぶる真似。

クチタ 指をしゃぶる癖のある人はいるんですか？

サヤカ フタバ。

クチタ フタバ…。サヤカさん、その人を呼び出すことはできますか？

サヤカ 誰かを意識的に呼び出すことができるのはミサオだけ。でもミサオには方法を教えてない。

その時、クチタは女性の呻き声のような幻聴を聞く。

サヤカ どうしたの？

クチタ 幻聴が。

サヤカ 幻聴？

クチタ 女性の呻き声みたいな。

サヤカ 大丈夫？

クチタ え？ ああ。何か混濁してる。

サヤカ さっき言ってた、起きてるのに見る夢？

クチタ ええ女の人が…。あれ、誰だったっけ？ ま、いいや。じゃあ方法を。

サヤカ 矛盾してると思わない？

クチタ え？

サヤカ 私がフタバを呼び出す方法知ってること。

クチタ さあ。

サヤカ そ？ じゃあいい。ねえ、方法教える代わりに何か情報頂戴。

クチタ さっきいろいろ…。

サヤカ …犯人は吉岡の知ってる人ってこと？ 携帯のアドレスを知ってるってことはさ。

クチタ 犯人の方が一方的に知っていただけかもしれないが。さあ、教えて下さい。

サヤカ はいはい。

サヤカ、鍵で机の引き出しを開ける。

クチタ あ、鍵。

サヤカ 何？

クチタ 探してたんです。

サヤカ 引き出しに何か？

クチタ ファイルのパスワードがあるって。デスクトップに「事件のこと（操）」ってファイルがあるでしょ。

サヤカ ああ。これやっぱりミサオじゃないんだ。あの子こんな細工できないはずだし。

香水の瓶を取り出す。

クチタ …香水？

サヤカ うん。

クチタ これがパスワード？

サヤカ パスワードって文字じゃないの？

クチタ　ですよね。

サヤカ　これはフタバを呼び出すための道具。

クチタ　どうするんですか？

サヤカ　匂いを嗅ぐの。あれ？

サヤカ、引き出しから手鏡を出す。

クチタ　鏡？

サヤカ　パスワード書いた紙らしいものはないね。

クチタ　はあ。

サヤカ　てことは、その鏡に何かあるのかな？

クチタ　というと？

サヤカ　謎を解くのが仕事でしょ。

クチタ　こういうの苦手で。

サヤカ　ファイルのパスワードって、普通バツと確認できる場所に書き留めておくもんじゃない？
デスクトップとか。隠すって言っても、不便な所じゃないと思うの。

クチタ、鏡を調べる。

クチタ うーん。

サヤカ 刑事さん。

クチタ はい？

サヤカ 主人格を見つけないさい。

クチタ 主人格？ ってミサオさんじゃないんですか？

サヤカ あの子も私達と同じ。別に主人格がいる。おそらくその日記を書いた…。

クチタ それは？

サヤカ …君が見つけなさい。さ、鳴らして。

クチタ、鈴を鳴らす。ミサオに戻る。

クチタ ミサオさん？

ミサオ …ママ？

クチタ クチタです。あ、眼鏡。

ミサオ、眼鏡を掛ける。

ミサオ ああ、クチタさん。サヤカちゃんに会えました？

クチタ はい。

ミサオ で、誰だったか聞きました？

クチタ …フタバって言ってました。

ミサオ フタバ…。

クチタ 呼び出す方法も聞きました。疲れてなければ、代わってほしいんですけど。

ミサオ …。

クチタ どうしたんです？

ミサオ 呼びたくないです。

クチタ 何故？

ミサオ その子が出て来ると、ろくなことがないんです。

クチタ でも、フタバさんが、事件解決の鍵を握ってるんです。

ミサオ できません。

クチタ 協力して下さい。

ミサオ 私を不安定にしないで。

クチタ え？

別人格 うぐぐ！

クチタ え？

別人格 ぐぎ！

クチタ ミサオさん？ 違う、フタバさんか！

別人格 フタバ？

クチタ 誰ですか。

別人格、眼鏡を外す。

別人格 どうして答えを求める？

クチタ 警視庁のクチタです。あんたの主人格が事件の鍵を握ってる。

別人格 主人格？

クチタ ええ。

別人格 事件は解決した。

クチタ 解決なんてしていない。犯人もわかっていないし、遺体の場所も。

間。

クチタ 何かを知ってるんだね。

別人格 主は現実を受け容れることに失敗した。

クチタ 主？ 君らの主人格か？ 君は何か知っているのか？

別人格 混沌こそが安定。

クチタ どういう意味だ？

別人格、クチタの首を絞める。

クチタ ぐ…。

クチタ、たまらず鈴を鳴らす。ミサオに戻る。解放されて咽せるクチタ。

クチタ これ以上、深入りしない方がいいんじゃないか？ …いや、そういうわけにもい
かない。

ミサオ …ママ？

クチタ クチタです。

ミサオ、眼鏡を掛ける。

ミサオ 今、何が？

クチタ 別の人が出て来ました。

ミサオ 別の人？

クチタ ええ。名前は言ってますんですけど。…あのフタバさんを。

ミサオ …わかりました。…あれ？ 鍵見つかったんですか？

クチタ ええ。でも、中には香水とこれ（鏡）があっただけで。パスワードなんて。
ミサオ ないですね。

ミサオ、鏡を引き出しに戻して、引き出しを閉めようとする。

クチタ 待って！

ミサオ え？

クチタ 今、何か書いてた！

ミサオ え？

クチタ 見て下さい。引き出しの上側に書いていたんだ。最初見た時は鏡の面が下向いてたから気づかなかったけど。サヤカさんの言う通りですよ。机に座ったままで確認できる場所。ほら、ミサオさ？

ミサオ、勝手に香水の匂いを嗅いでいる。フタバ登場。

フタバ アナタハダアレ？

クチタ え？

フタバ ダアレ？

クチタ …ミサオさんの友達なんだ。君は？

フタバ …フタバ。

クチタ 君がフタバ…。

フタバ 三歳。

クチタ そう…。あのね、聞きたいことがあるんだ。川崎忍さんを知ってるかな？

フタバ 忍…。

クチタ 忍さんを殺した犯人を探しているんだ。お兄さんね、刑事なんだ。名前はクチタ。

フタバ …おじさん、頭オカシイノ？

クチタ え？

指をしゃぶるフタバ。

フタバ 遺体は何処？

クチタ 遺体？ 遺体って誰の？

フタバ アタシノイタイ。

クチタ 何言ってるの。川崎忍を知ってますね。

フタバ 知ってる。シノブクライシノブクライシノブクライ。

クチタ どういう関係なのかな？

フタバ おじさんの恋人。

クチタ え？ おじさんって？

フタバ、クチタを指さす。

クチタ 俺？

フタバ おじさんの恋人。忘れたんだね。

クチタ 川崎忍の恋人は、吉岡っていう…。

フタバ 知ってる。

クチタ ふざけてるの？

フタバ ア、ナ、タ、ハ、ダ、ア、レ？

クチタ え？

間。

クチタ 引かかる。

フタバ 引かかる？

クチタ 君の名前。フタバ。

フタバ 知ってるはず。

クチタ そうだ、知ってる。

フタバ フタバっていうのは…。

クチタ そうだ、吉岡の携帯に届いたメール…。『今から忍を殺します。双葉』。…川崎忍を殺した女の名前だ。

フタバ そう。

クチタ 君が双葉なんだろう？

フタバ 違う。

クチタ 何が違うんだ。

フタバ 答えはもっと遠くて、もっと近くにある。

フタバ、女性を見る。

クチタ それよりさっきの質問に…。

フタバ その人に聞いてみたら？ その人いろいろ知ってるよ。

クチタ その人？

フタバ 外した？

クチタ 外す？ 何を？

フタバ、自分の両耳を指す。クチタ、自分の耳を調べる。耳栓をしていることに気づき、外す。女性
の声が聞こえる。

女性 ウウ…。

クチタ、今まで気づかなかったが、すぐそばに縛られて猿轡をされた女性が横たわっている。

クチタ 何これ。フタバちゃん？ これってどういうこと？

フタバ、クチタを見ているが返事をしない。

クチタ　フタバちゃん？

クチタ、鈴を鳴らす。

クチタ　ミサオさん、出て来て下さい。ミサオさん？

フタバ、首を横に振る。

間。

クチタ、女性を見る。目がクチタを睨むように見ている。女性にゆっくり近づくクチタ。

女性　ウウ…。

クチタ、猿轡と縄をほどく。女性、息が切れ少し怯えている女性。

クチタ　誰がこんな？

女性、いきなりクチタの頬を叩く。

クチタ
な？

女性、クチタをじっと睨む。

クチタ この子だよ！ 彼女の中の誰かがやったんだ。

フタバ …。

クチタ ? (フタバに) 君がこの人のこと縛ったんだろ? どういうことか説明してくれよ。

女性 …誰と喋ってるの？

間。

クチタ
は？

女性、写真盾を持つ。

女性 この（写真の）子？ この子なの！？

クチタ どうしたんだよ。

女性 質問に答えて。

クチタ あ、ああ。髪型、違うけど。

女性、首を横に振る。フタバ、苦笑。

女性 ^{シノブ}忍さんは死んだのよ。

クチタ 忍？ 何言ってるんだ。この写真は…。

女性 川崎忍。

クチタ …君、変だよ。

女性 記憶を整理してみて。忍さんが死んだことは覚えてるんでしょ。

クチタ 待って。そうだ、何で君がその名前を？ 事件の関係者？

女性 私？ 事件を担当している警視庁の…。

クチタ 本庁が応援をよこしたのか？

女性 初対面みたいな言い方しないでよ！

クチタ だって、だって初対面、だろ？

女性 …忍さんはどんな風に死んでた？

クチタ 忍は、自分の部屋で眠っている間に椅子に鎖で固定されて。

女性 それで？

クチタ ボウガンで殺された。

女性 誰に？

クチタ 双葉って名乗る女に。必死に逃げようと藻掻いたっぽく、鎖で縛られた手首に血が滲んできた。

女性 通報を受けて駆けつけたとき、部屋に遺体はなかった。でもビデオが残されてて、彼女が死ぬ瞬間が撮影されてた。

クチタ ああ。

女性 専門家曰く、映像に細工はなく、ビデオの内容は証拠能力が高いって。

クチタ それは何？

女性 手首から血が滲んでたって？

クチタ ああ。

女性 何で知ってるの？

クチタ 何で？

女性 何でそんなこと知ってる？

クチタ は？

女性 三脚で固定されたビデオが捉えていたのはこっ（胸）から上。手首は一瞬も映ってなかった。

間。

クチタ けど見たんだ。

女性 現場でね。

クチタ え？

女性 変な質問していい？

クチタ 変な質問？

女性 …自分が誰かわかる？

クチタ は？

女性 名前は？

クチタ だからクチタ…。

女性 下の名前は？

クチタ 何なんだ君。

女性 下の名前。言える？

クチタ それを聞いて何になる？

女性 いいから答えて。

クチタ ええと…。

間。

女性 何で出て来ないの？

クチタ 何で…。

女性 知らないから。

クチタ ?

女性 クチタ刑事じゃないから。

クチタ ?

女性 そのノートに届いたメールを読んだんでしょ。クチタ刑事が来るって。

クチタ え?

女性 それを見て自分がクチタだって錯覚しちゃった。

クチタ 君、誰?

問。

クチタ 何で俺を混乱させる。

女性 そう、混乱しているの。纏れた糸を少しずつほぐしてみて。忍を殺したのは誰な

のか、双葉とは誰なのか。それよりもっと素朴で重大な疑問。自分自身が誰なのか。

クチタ 俺は…。

女性 本当の名前を。

クチタ クチタじゃない…。

女性 本当の自分を。

クチタ、名前が出てこない。

女性 病院にいたよね。

クチタ ああ。最近不眠症で神経が弱ってて。

女性 医者は一時的な記憶障害だって。

クチタ え？

女性 君が倒れてるのを私が発見して救急車を呼んだの。もう少し遅かったら取り返しつかないことになってたんだよ。

クチタ 何のこと？

女性 睡眠薬を飲んだんでしょ！

クチタ …それじゃまるで俺が吉…。え？

女性 そう。

クチタ …俺が…吉岡？

女性、頷く。吉岡、えずく。

吉岡 違う違う違う！俺は殺してなんか無い。やってない！

女性 落ち着いて。

吉岡 ウウウ。わかんない。俺が？

女性 ううん、君じゃない。

吉岡 じゃあ、誰が殺したんだ！俺、何で記憶がないんだよ！

吉岡、机に突っ伏す。

吉岡 …説明してくれよう。

女性 ホントは自力で思い出した方がいいんだらうけど。

吉岡 教えてくれ！

女性 睡眠薬の後遺症だらうって。意識が戻って退院しても、何日も放心状態だった。今日、様子見に来てみたら、いきなり君が殴りかかって来て。目が覚めたらさつきみた

吉岡
いに縛られてて、君はパソコンに向かって、ずっと一人でブツブツブツ…。
一人？ だって…。

吉岡、首を押さえる。

女性
自分で絞めてた。何度も呼んだのに…。

吉岡
そんな。

女性
ちよっと、パソコンから離れよ。

女性、吉岡をソファへ導く。

吉岡
…多重人格の女の子がいて、主人格が別にいるって、主人格…。全部幻？ 主人格は、

…俺？

女性
…。

吉岡
じゃあ、本物のクチタ刑事は？

女性
クチタじゃなくてクチダ。

吉岡 クチダ？ その人は？

女性、自分を指す。

吉岡、頭を押さえる。

口田 吉岡君？

吉岡 ここ、俺の部屋？

ライブの写真。

吉岡 俺が撮った写真。

口田 …。あの夜、君の携帯にメールが届いた…。

双葉 吉岡さんごめんなさい。今から忍を殺します、双葉。

口田 それ見て、忍さん家に駆けつけたのね。

吉岡 …メールが届いてから高速飛ばしたけど一時間半かった。間に合わなかった。忍は、体、縛られて。ウウウ…。

口田 吉岡君。

吉岡 死んだ。双葉って女も。忍を殺して、そのままあの部屋で双葉も死んだんだ。

口田 その後は？

吉岡 その後？

口田 車で！

吉岡 車で…。忍と湖にドライブに。助手席で忍、歌ってた。

口田、首を振る。

吉岡 あの日助手席に彼女を乗せて、湖に…。すれ違う車もなくてホント貸切状態で。

助手席の窓が開いていて、彼女の髪が靡いてる。助手席で歌う彼女に僕も合わせて鼻歌を…。違う。カーステだ。忍の歌はカーステで流してて。忍はずっと目を閉じて黙ってて窓の外を見てた。体が席からずれ落ちるから何回か固定し直した。あの子の体白くて冷たくて。手を握っても、握り返してこなかった。握り返してはこなかった。

自分の手を見つめる吉岡。

口田 …。

吉岡 双葉って誰？ 何で忍が殺されなきゃならなかったんだ？ あんた警察なんだ

ろ！ 調べたんだろ！

口田 双葉さん、あなたが忍さんに騙されてたことを知って…。

吉岡 は？

口田 忍さんが吉岡君近づいたのは、保険金目当てだったみたい。君の保険調べたら受取人が忍さんになってた。

吉岡 だからって何で？ 双葉って女が俺の何だって言うんだよ。

口田 …。

吉岡 双葉は何処に？ もしかしてまだ生きてるとか？ いや、死んだんだ。双葉は忍の部屋で忍を殺して、そのままそこで遺書を残して自殺したんだ。あれ？ でも部屋には忍しか…。俺が車に乗せたのが忍だとしたら、双葉は誰が？

口田 吉岡君。

吉岡 ちよっと待って。俺は一体どっちを車に乗せたんだ？ 忍？ それとも双葉？

口田 …。

吉岡 俺、混乱しちゃってる。何で俺、ひとりしか運んでない？

口田 だって…。

吉岡 だって？

口田 …同一人物だから。

間。

吉岡 え？

口田 双葉さんと、忍さん。

吉岡 そんな…。

口田 吉岡君、そのことを知ったんだよね。

吉岡 前にも、こんな…。

口田 パスワードを入力してみて。

吉岡、パスワードを入力する。

吉岡 これ…。

口田 双葉さんが残した手記。吉岡君、記憶をなくす前にこれを見つけたんでしょ。吉

岡君自分でプロテクトかけて、記憶と一緒に封印して。…忍さんは双葉さんに売
春を強要していたこととか、死に至るまでのことが書いてある。

吉岡 強要？

口田 端から見ればひとりの人間のやっていることだけど、忍さんが契約を取って、双
葉さんが、体を犠牲にした。

忍（声） 5万。じゃあさ、振り込んでくれる？ ええと、ここ。（携帯を見せる）そう、うん。

私、ベッドで待ってる。いい？ ちよつとゲームっぽくない？ レイプゲーム。
私が犯される役。結構リアルにやるから頑張ってるね。

双葉 …。

忍（声） じゃ、シャワー浴びて、十分したら戻って来てね。あ、ゴムつけてよ。んじゃあねえ。

…ってなわけなんで、双葉ちゃん、あとよろしくね。キヤハハ。

吉岡 そんな…。

口田

これまでに、三人の男を買春容疑で逮捕したの。事情聴取で、そのうち三人ともが、行為に及ぶ時にそれまでと違う性格みたいになっていったって。

吉岡、パソコンの文章を読む。

吉岡

…「私は日付が代わる瞬間を体験したことがない」。

再び双葉。吉岡とオーバーラップ。

双葉

午前〇時を迎えたとき、私から忍に変わる。日付が変われば出番は終了。制御不能…。

制御不能…。

間。

双葉

忍は意識的に私と入れ替わることができた。だから主導権を握られる。あの子が確実に表の状態で殺すことができる方法を考えなきゃ。あの子が私と入れ替わる

ときに何してる？ もし念じるだけで入れ替われるんだったら手はない。直前に私に戻されてしまう。けど、一度私のいない間に火事に遭って死になっただけでビデオで。

吉岡
ビデオ？

ビデオレター。二人の交換日記みたいなもの。

口田
忍は火が怖いって言ってたのに。嫌なことは全部私に押しつける忍が、火事に遭ったのに私を呼び出さなかった。体売る時も妊娠して中絶手術を受けるときも私にやらせたのに。ってことは、…何だろ？ 何にしても、私に簡単にはわからないようにしているはず。目が覚めたとき、私はどうなってる？ 眠ってる。眠るまで？ …違う。すぐに戻ったときもあった。もつと瞬間的に発動できるんだ。例えば？ ある種類の音を聞くとか、呪文を唱えるとか。いつも目が覚めたとき、私はどうなってた？ 共通点は？

問。

双葉
…そうだビデオ。忍が私に戻る瞬間、何をしているのかをこっそり撮っておけば…。

間。

双葉

この部屋で忍が私と交代したくなるような事情を用意しないと。忍が援交するときは、この部屋を使わないし。私じやなきや応対できない客が来れば。…そうだ、忍、パソコン使えないから…。

吉岡

…前の晩、彼女にノートパソコンの調子が悪いから来てくれって頼まれたんだ。

口田

ノートパソコン？

吉岡、ノートPCに手を触れる。

吉岡

でも何処も壊れてなかった。

口田

入れ替わる所をビデオに撮るのが目的だったから。

双葉、リモコンを手に、ソファに座り、ビデオを見ている。

双葉 何か出した？ …このベルト？

双葉、ベルトを調べる。ベルトのバックルの中に香水瓶。

双葉 香水…。匂い。これが。こんなところに隠してたんだ。匂いを嗅いで1分程で入れ替わってる。1分。その間にバックルにまた香水戻して。私に気づかれないように。

間。

双葉 …そっか、火事の際は煙で香水の臭いがわからなかったんだ。

吉岡 …読んで、苦しくなる。

口田 無理しないで。休憩取りながらにしたら？

吉岡 いや…。

双葉 忍が援交の身代わりに私を呼び出すのは、大体夜八時頃。ことが済んだら、部屋に戻って、〇時が来ればまた忍に戻る。

双葉、腕時計を見る。

双葉 …十一時五十分。他の人には自殺に見えるのかな。私は忍を殺すの。撮影しておけば気づいてくれるよね。あの子なら。たぶん。そうだ。メール。

双葉、携帯でメールを打つ。

吉岡 俺の知ってる忍は双葉がここに書いてるような子じゃなかった。

口田 君が会ってたのは、双葉さんの方だったんじゃない？

吉岡 え？

双葉、ベルトの中から香水瓶を取りだして、遠くへ置き、カメラをセッティング。

口田 チャットで知り合ったんだよね。

吉岡 うん。

口田 パソコンを使えるのは双葉さんの方だけだったって書いてるし。いつも日付が代わる前に帰ってたんじゃない？

吉岡 あ。

口田 双葉さん、外じゃ忍さんの名前を名乗ってたんじゃないかな。

双葉、自分の体をパイプ棚の脚に、動けないように錠をする。

双葉 …忍は錠を外す数字を知らない。あとは眠るだけ。もう、これで最後なんだよ。忍。

香水がないってわかったら焦る？

間。

吉岡 死ななきゃならなかったのか？

口田 双葉さんはもうひとりの自分の舵を取れなかった。たとえば、保険のことを何とかしたとしても、その先、自分の意識のない間に、何をしでかすかわからない。吉

岡君を忍さんから守るために、だから。

吉岡、鈴を握っている。

吉岡 この鈴……。最初に彼女と会うときの目印だったんだ。チャットで知り合って顔が

わからないから。

双葉、別の鈴を取り出して鳴らす。いつの間にか回想。

双葉 エムワイ君？

吉岡 ？

双葉、鈴を見せる。

吉岡 あ、あやのさん？

双葉 ごめんなさい遅れて。

吉岡 来てくれないかと思いましたよ。あ、俺、吉岡です。

双葉 川崎忍です。

吉岡 忍？ え？ あやのさんじゃなくて？

双葉

ごめんなさい。名前変える設定分からなくて。あやのって、私のメル友で、ノートパソコン譲ってくれた子の名前なんです。今日、その子の悩み聞いてたら、家を出るの遅れちゃって。

吉岡

いえいえ。そっか、本名、忍さんって言うのか。

双葉

…本当は違うんですけど、あ、でも忍でいいです。じゃあ、行きましょか。お店こっちです。

吉岡、ついて行こうとして現実の口田に声をかけられ立ち止まる。

口田

忍さんもまた、ある男にミサオられてた。君もよく知っている人。

吉岡

俺の、親父…。

口田

ええ。君は何故こんなことになったのかを、ビデオを見て知ったのね。彼女が多重人格だったってこと。

吉岡

ああ。

口田

そして、忍さんが自分を殺そうとしていたこと、それを指図していたのが君の父親だったことも。忍さんに売春させていたのも。父親を殺そうと決めた。

吉岡　なのに、その前に死んだって知らせが来た。酔って車運転してたんだと。

口田　君は生きる目的を失ってそれで…。

うなだれる吉岡。

吉岡　わからないよ…。

口田　何がわからないの？

吉岡　何で忍は俺を生命保険に加入できたんだろ。婚約もしないのに受取人を身内で
もない人間にしてたら、保険会社だっておかしいって…。

口田　だって。

吉岡　何？

口田　…。

吉岡　今更何だよ。ここまで明らかにしておいて。何で黙ってるんだよ。

口田　お姉さんがいたでしょ。

吉岡　何？ 何の話？

口田　紗耶香って言う名前の。

吉岡 紗耶香？

口田 君のお姉さん、湖で溺れて死んだの？ 違うよね。溺れてたのは吉岡君の方だよ。

吉岡 え？

口田 君の父親のせいで。…君は虐待を受けてたんでしょ。

吉岡 ？

口田 泳げないのに無理矢理…。けど助かった。助けたのは？

吉岡 ？

口田 紗耶香さん…。その事故があって、君のお母さんは、このままだいつか、本当に殺されると思って、…紗耶香さんを連れて家を出て行った。

吉岡、放心したように宙を見ている。

口田 吉岡君、湖で溺れたときから、時々記憶をなくすことがあったんだよ。それを

利用して君の父親は、二人が家を出ていった腹いせに紗耶香さんは君のせいで溺れて死んだと教え込んで。それを信じちゃったんだよ。

口田、声に泣きが混じる。

口田 紗耶香さんは紗耶香さんで、湖の一件以来、記憶を失って、代わりに二つの人格

が生まれた。それが忍さんと双葉さん。

吉岡 そんな。

口田 私ね、いろいろと多重人格のこと調べたんだ。小さい頃の虐待とかいじめとかが

原因っていうのは多いみたいだけど、そうでない原因もあるんだって。紗耶香さんは、君がお父さんから虐待を受けているのを見ていただけでそうなったけど、実際に受けていた君はなかった。双葉さんが死んでもなかった。なのに
お父さんが事故で死んで、それで。

間。

吉岡 何で…。

口田 ？

吉岡 何で、俺の記憶を戻したんだよ！ こんな、こんな…。

口田 それは…。

吉岡 忘れたままなら、こんな思い、二度もすることはなかった！ 封印してたのに、封印してたのに！

口田 …。

吉岡 …遺体の場所か。それを俺の口から割り出したかったんだ。

口田 力になりたいって思っ。刑事だからってわけじゃないの…。

吉岡 どうもありがとう。力になってくれて。じゃあ帰って下さい。

口田 違。

吉岡 何が違。

口田 …。

吉岡 何だよ。

口田 本当は助けてほしくて。私のこと助けてほしくてそれであ。

吉岡 …？

口田 このノート型。もともと私が使ってた奴なの。

吉岡 え？

口田 彼女に売ったんだ。

吉岡 じゃあ、メル友のあやのって。

口田 私の名前。口田綾乃。

吉岡 え？

口田 チャットで知り合ってたね。私の方がいろいろ相談してた。それが凄く助けになった。双葉のさん方が凄く悩みを抱えてたはずなのに。チャットじゃ私の話聞いてもらってばかりで。

口田、吉岡の中で泣く。双葉、囁くように歌を口ずさんでいる。

口田 …双葉さんが亡くなって後、ずっと辛くて。吉岡君を助けられたら、私も吉岡君に助けてもらえると思って。だから…。

吉岡 …。

口田 ごめんなさい。

吉岡、口田の腕を見る。腕には鎖で縛られた痕が残っている。

吉岡 こんなにきつく、俺…。

口田、首を横に振る。

吉岡 俺のこと、助けてくれますか。

口田 …うん。…外の空気吸いに行きましよう。…あなたの下の名前思い出せました？

吉岡 ああ…。

口田と吉岡、互いを支えあって外へ。

双葉 ごめんね。…操。ミサオ

見送る双葉。終わり。